

国の平成 28 (2016) 年度第 3 次補正予算案について

平成 28 年 12 月 23 日
広 域 連 携 課

- 第 3 次補正予算案の規模は 2,133 億円、うち、鳥取県中部地震の災害対策経費等を盛り込んだ災害対策費は 1,955 億円。
- 財源は、税収下振れ△1.7 兆円、赤字国債 1.7 兆円（追加発行は、平成 21 年度以来 7 年ぶり）のほか、低金利に伴う国債利払い費の不用額などを充てる。
- 今後は、1 月下旬召集予定の通常国会において第 3 次補正予算案を早期に成立を図る見通し。

<補正予算の概要>

(単位：億円)

歳出		歳入	
政策経費の追加	6,225	税収減	△17,440
災害対策費	1,955	赤字国債	17,512
国際機関への分担金等	1,685	建設国債	1,014
防衛費(ミサイル改修費等)	1,706	税外収入	1,047
その他	879		
歳出削減等	△4,092		
合計	2,133	合計	2,133

<鳥取県中部地震に係る災害対策経費>

○公共土木施設等の災害復旧費【国土交通省】<公共> 944 億円

⇒うち本県分の査定額：既査定額 9 億 6,200 万円(国費ベース、市町村分含む)＋未査定額

- ・災害査定は前倒し実施等により年内に終了予定。(道路・河川等、大部分について通常より 10 日早く 12/12～16 に実施済。残る港湾・公園についても 12/26～27 に実施予定)
- ・机上査定の対象額を通常 300 万円未満から 1,500 万円未満まで引上げ。

○農地・林道・漁港等の災害復旧等事業【農林水産省】<公共> 123 億円

- ・災害査定は 12/19～28 に実施予定。
- ・机上査定の対象額を通常 200 万円未満から 1,000 万円未満まで引上げ(農地・農業用施設災害)

○被災農業者向け経営体育成支援事業【農林水産省】 130 億円

(農産物の生産・加工に必要な施設・機械の再建・修繕等を支援)

- 12/21、山本農林水産大臣に対し、既存国事業による対応が困難である畜産関係施設の復旧について、本事業の適用及び「畜産クラスター事業」の要件緩和など、早期復旧を図るための財政的支援を行うことを要望。

○農林水産業共同利用施設災害復旧事業【農林水産省】 16 億円

- ・本県内での災害査定期間は 12/20～22。
- ・被災した共同利用施設（被災総額：約 5 億円）について、本事業（補助率 2/10）を活用しながら、県・関係市町により末端補助率を 9/10 まで嵩上げ（内訳：国 2/10、県 3.5/10、市町 3.5/10）し、施設所有者の負担軽減を図る。

○医療施設の災害復旧【厚生労働省】 2.5 億円

○社会福祉施設等の災害復旧【厚生労働省】 2.1 億円

- ・12/19～27 にかけて、中国四国厚生局、中国財務局が災害復旧費にかかる実地調査、机上調査を実施。（1 月に残りの全対象施設について調査を実施。）
- ・調査終了後、交付申請、交付決定が速やかに進む予定。
- ・当面、既存予算での対応となるが、不足が生じれば今回の補正予算分で対応する予定。

○水道施設の災害復旧【厚生労働省】 25 億円

- ・各市町とも、応急復旧工事は完了。（倉吉：配水塔解体し、避難勧告を解除済）
- ・H29/1/10～13 にかけて、災害査定が予定されている。
- ・補助限度額決定通知見込は 2/6～15 頃。
※被害申請額 1 市 2 町 88,446 千円

<その他>

○国庫債務負担行為（ゼロ国債）【国土交通省】<公共> 事業費 2,984 億 40 百万円

- ・直轄事業については、事業箇所及び金額について調整中。
- ・地域高規格道路《補助事業》については、江府道路の宮ノ谷橋上部工（1 億円）（国費ベース）を要求中。

○岡山大学惑星物質研究所の災害復旧【文部科学省】 被害額 26 億円

- ・研究設備については、平成 28 年度第 3 次補正予算への計上は見送られ、今後大学と文部科学省で金額を精査の上、平成 28 年度第 2 次補正予算の残及び平成 29 年度国立大学法人運営費交付金（10,970 億円）により対応予定とのこと。
- ・建物については、文部科学省の平成 28 年度既定予算の中で対応する方向。